ぜんせき
THE ZENSEKI
第7851号 月・水・金発行（祝日除く） 組合員 月1,728円 組合員外 月1,944円（消費税込）
8月15日（水曜日） 2018年（平成30年）
発行所 全国石油商業組合連合会
東京都千代田区永田町2-17-14
電話 03-3593-5751
http://www.zenseki ren.or.jp
昭和38年7月1日第3種郵便物認可 振替口座00130-4-52707

ぜんせきweb版 登録受付け中！
新規のご登録の手続きは下記ウェブサイトでできます
http://zensekiweb.com

正副部会長が元売歴訪

発券店値付けカード改善要請

経営部会

全石連経営部会の喜多村利秀部会長、亀井喜久雄、村上芳弘の両副部会長は6～7日にかけて、新体制となって初めての元売歴訪の一環として、JXTGエネルギー、出光興産、コスモ石油マーケティング、太陽石油、キグナス石油の5社を訪問した。昭和シェル石油も後日訪問する予定。

今回の元売歴訪は、喜多村経営部会長の新任に伴い、同部会が新体制になったことを受けて実施したものだが、元売発券店値付けカードを取り扱っている元売に対しては給油代行手数料の引き上げを改めて要望した。また、大手流通業者SSの常識を超えた廉売問題に対する考え方を議論するとともに、不明瞭な表示の改善などを目的に精販が足並みを揃えて取り組んでいる全石連の価格表示ガイドラインの順守徹底を再度要請した。

喜多村部会長は発券店カードの手数料問題について「以前から東京石商が取り組んできた課題だが、いまや全国的な問題となっている。人件費コストの上昇や市場環境の変化など、SS業界を取り巻く情勢が変わってきていることを踏まえ改善を求めたい。中でも需要の小さい地方部では法人客が同カードに切り替わってしまうことで、中小SSにとっては死活問題にまでなっている」と指摘。発券店の問題についても「金融業者などSSを持たない事業者が発行しているカードは、災害時における〝最後の砦〟とされるSSのインフラ機能をき損させる」と危機感を訴えた。

さらに大手流通業者のSSについては「我々、系列SSの仕入価格を下回るような小売価格の廉売がなぜ可能なのか、元売各社と問題意識を共有するとともに、その影響として数十㌔の商圏内にある専業の中小SSが大変な打撃を受けている。特に地方部では一度撤退すると、SSを再開することは難しい」などと訴え、販売業界が直面する厳しい現状や、SSネットワーク崩壊によって地域住民の安全を守れなくなる懸念について理解を求めた。

価格表示ガイドラインの順守については、各支店などを通じた再徹底を求めた。

今回応対した元売幹部は次の通り。

▽JXTG＝花谷清取締役常務執行役員販売本部長、齊藤猛執行役員販売本部販売企画部長、藤森達男販売本部販売企画部副部長▽出光＝荒井裕治上席執行役員販売・物流担当物流部長、松下雅一販売部広域担当部長▽コスモ＝峯明彦常務取締役、安田善彦販売部長▽太陽＝吉井伸吾専務執行役員、日野晋吾理事営業推進部長、中山信二執行役員総務部長▽キグナス＝杉浦克徳取締役リテール販売事業部長兼リテール販売部長、増田元男管理部長兼総務統括部長

JXTGエネの花谷氏（写真左奥）らと面談

出光の荒井氏（写真右奥）らと面談

コスモの峯氏（写真左奥）らと面談

太陽の吉井氏（写真左中央）らと面談

キグナスの杉浦氏（写真左手前）らと面談

石連と連携、満タン運動PR

自治体防災訓練に参加

茨城

【鹿嶋＝茨城】茨城石商（宇田川仁一郎理事長）は11日、鹿嶋市のカシマサッカースタジアムで開催された「2018年度茨城県・鹿嶋市総合防災訓練」に参加し、石油連盟と共同でブースを設け、最新の石油暖房機器や『満タン＆灯油プラス1缶運動』などのPRを行った。

訓練は「千葉県東方沖を震源とするマグニチュード7・7の地震が発生、鹿嶋市周辺では震度6強を記録し、気象庁から大津波警報が発表された」という想定で開始。実際にヘリコプターをはじめ多数の緊急車両や自衛隊車両が出動したほか、タンクローリーの供給訓練も実施した。

ブースには自家発電機や、停電時でも使用できる石油ストーブ・石油コンロなどを展示。縮小する石油サプライチェーンの現状を伝えるパネルを展示したほか、来場者に『満タン運動』のチラシを配布し、災害時における石油の重要性などを説明した。

訓練終了後、大井川和彦知事は「非常に大がかりで、本格的な防災訓練となった。様々な自然災害が各地で発生する中〝想定外〟は常に起きると考える必要がある。今後も連携を取りながら、官民一体となって防災意識を高めたい」と総括した。

ブースには多くの一般市民らが訪れた

論説

猛暑、人と車の健全管理を

旧盆商戦の最中。ガソリン価格は5月下旬から全国平均151～2円水準で推移している。JTBの事前予測によると宿泊旅行者数は前年並みの7500万人弱、総消費額2・5兆円超に達し、主要交通手段は乗用車が65%と突出。クルマの利便性は、ほかに代えられない。その一例が、快適な移動空間。猛暑の今夏は特にありがたい。

気象庁の観測地点数900ヵ所強のうち、7月の1日あたり単純平均で「真夏日」を記録したのは516ヵ所、うち「猛暑日」が101ヵ所も出現した。昨年7月も「真夏日」486ヵ所、「猛暑日」26ヵ所と暑かったが、今夏は早々から猛暑日が急増。同様に8月も「真夏日」は2010年（635ヵ所）に次ぐ583ヵ所（12日現在）、特に「猛暑日」は13年（104ヵ所）を大きく上回る144ヵ所に達し、過去9年間で断トツだ。中国・九州では18～27日も平均気温が「かなり高い」として異常天候早期警戒情報が発出されており、9日発表の1ヵ月予報も、本州・九州の平均気温は平年より高い確率が60%以上とのこと。ちなみに、昨夏は旧盆時期に暑さが収まり、下旬にぶり返す傾向がみられた。

「命にかかわる危険な暑さ」という表現が頻出する中、繁忙期で体力を消耗しているSS従業員の健康配慮は欠かせない。同時に、自動車ユーザーの安全・安心走行をサポートするのも我々の社会的責務だ。JAFは現在、主な救援依頼内容をPR中だが、高速道では「パンク、バースト、エア圧不足」「燃料切れ」、一般道では「過放電バッテリー」「パンク、バースト、エア圧不足」に警鐘を鳴らし続けている。この暑さでトラブルに見舞われ、SSへの駆け込みが増えているとも聞く。

他方、高速道の逆走事案・事故が後を絶たない。防止対策の進展などに伴い、昨年の逆走件数は207件と前年比で2割減ったが、なお「2日に1回以上」の頻度で発生。事故も44件あり、死亡に至る割合は40倍。それらの4割超を75歳以上ドライバーが占める。国は20年までに逆走事故ゼロを目指すが、容易ではなさそうだ。

自動車事故はまだ、道路整備や走行支援技術だけでは防ぎ切れない。ドライバーの運転作法や意識による部分が大だ。点検の励行も重要。「つい」や「うっかり」で取り返しのつかない事態が起きないよう、身近なSSとして顧客に寄り添いたい。

コスモ 1Q 石油実益15%減67億円

コスモエネルギーホールディングスの今第1四半期連結決算は、前年同期比で売上高が12%増の6311億円、営業利益が3・2倍の386億円、経常利益が2・7倍の412億円、純利益は4・4倍の206億円。145億円の在庫評価を除く経常利益は15%増の267億円で、第1四半期の経常利益、在庫評価除き経常利益は過去最高を更新した。

このうち石油事業の経常利益は、前期の赤字4億円から212億円へと大幅増益した一方、在庫評価除きでは適正マージンを確保したものの製油所定修影響などにより15%減の67億円にとどまった。

通期連結業績予想は5月公表時のまま据え置き、売上高が8%増の2兆7200億円、営業利益が6%増の1180億円、経常利益が4%増の1210億円、純利益は22%減の570億円を見込む。

昭シ 2Q 石油事業実質益548億円

昭和シェル石油の今第2四半期連結決算は、前年同期比で売上高が29%増の1兆2221億円、営業利益は3・2倍の740億円、在庫評価影響203億円を除いた実質営業利益相当額も3・2倍の536億円、経常利益が2・8倍の754億円、純利益が2・9倍の465億円と大幅な増収増益を計上した。

営業利益の内訳は、石油事業が2・8倍の751億円、在庫影響を除くと2・7倍の548億円、エネルギーソリューション事業は25億円良化したものの損失18億円だった。

通期連結業績予想は、石油製品マージンの改善などから5月時の見通しを上方修正し、売上高が3兆2千億円、営業利益が1580億円、在庫影響310億円を除くと1270億円、経常利益が1600億円、純利益が1千億円に上るとした。営業利益の内訳は、石油事業が1250億円、エネルギーソリューション事業が20億円を見込む。

自己株式消却へ 期末配当も増配

昭和シェル石油は9日開いた取締役会で、自己株式の取得による消却を決議した。上限は普通株式600万株（自己株式を除く発行済み株式総数の1・59%）、取得価額100億円で、今月16日～10月末日の間に行う。

一方、同会では期末配当予想を1株あたり53・5円増配し85円に修正、年間106円とする方針も決めた。12月目途で開催予定の臨時株主総会で正式決定し、実施する考え。

自己株式取得および配当が行われた場合、今期の総還元性向は50%程度となる見込み。

東日本高速SS 7月ガソリン5.9%減

NEXCO東日本高速管内SSの7月販売量は、前年同月比でハイオク10・3%減（18ヵ月連続減）、レギュラー5・0%減（3ヵ月連続減）、ガソリン計で5・9%減（16ヵ月連続減）、軽油25・9%増（35ヵ月連続増）、合計11・0%増となった。ハイオク比率は0・8ポイント下落の15・8%。

上期（1～6月）はハイオク9・0%減、レギュラー3・5%減、ガソリン計で4・4%減だったことから、減販が加速している。特に関東では梅雨明けが早かったものの、販売増には結び付かなかった。

レジャー客急増で備蓄ひっ迫

島にタンク！ 沖縄・座間味島レポート＜上＞

沖縄県の離島、座間味村にガソリンの地上タンクが建設されることが決まり、近く着工する。島にはSSが1ヵ所あるが、天候不良による欠航などの不安を抱えているうえに観光客が激増していることもあって、島民にとっては大きな喜びだ。建設が決まるまでの背景やSSの現状を現地から連載で報告する。

座間味村は沖縄本島から西へ約40㌔の東シナ海に浮かぶ座間味、阿嘉、慶留間の3つの島からなる。沖縄本島・泊港から高速船に乗れば約50分で座間味島に着く。海底が透けて見えるようなエメラルドグリーンが地平線まで広がっている。「世界が恋する海」とも言われる。日本で31番目の国立公園に指定され、「ミシュラン・グリーンガイド」でも紹介された。

国内・国外からの観光客が急増している。サンゴ礁と熱帯魚が泳ぐ海には1年を通じてダイバーがやって来る。ザトウクジラの豪快なパフォーマンスを見せるホエール・ウォッチング、無人島を回るシーカヤック、ストックを持って野山を歩くノルディック・ウォーキングなどのレジャーを楽しむ。夜は「宝石箱をひっくり返したような星空」（島民）が水平線まで広がる。

2017年度のレジャー客は前年よりも5千人増えて、10万8千人に達した。人口は936人だから、実に島民の100倍のレジャー客が押し寄せていることになる。あちこちに掲げられている英語の看板が目を引く。

島にはアルファベットの看板も目立つ

観光客の増加に伴ってガソリンの消費量も増え続けている。16年度は209㌔㍑だったが、17年度は227㌔㍑になった。

一方で燃料輸送には大きな問題を抱えている。ドラム缶をフェリーに積んで運んでいるが、1回に800㍑という制限を受けている。さらにSSは消防法の規制を受け、大量の貯蔵ができない。このため需要が増える観光シーズンには制限給油しなければならない。

地元自治体、住民からは「タンクを造って」という強い要望があり、これを受けて国は「ガソリン安定供給のための備蓄事業実証事業」として、8㌔㍑の地上タンクを設置することにした。

建設場所は座間味島の港の近くで、周辺には役場や民宿、飲食店も点在する便利な場所だ。早ければ今年末に完成する。

ポンプあ・い・ら・ん・ど

▼先日、愛犬の散歩ルートにある家の前で懐かしいものを目にした。それは、お盆の時期にお供え物として作られる精霊馬。確か正式な備え場所が決まっているので、外にあるのは間違いなのかもしれないが、家の入り口に飾られていた▼自身が子どものころ、お盆の時期に田舎の祖母の家に遊びに行くと仏壇に飾られていた。胡瓜を馬、茄子を牛に見立てたその供物には、先祖の霊になるべく早く（馬で）帰って来てもらい、なるべくゆっくりと（牛で）あの世に帰ってもらうという意味があるそうだ（諸説あり）。最近はあまり目にすることがなくなってしまったが、もしかしたらお孫さんが帰省し、祖父母と一緒に作って置いたのかもしれない▼昔は馬や牛が人や荷物を運ぶ手段として重宝されたが、現代はその手段が多様化し、クルマが重要な移動手段の1つになっている。折しも多くの人が旧盆休みの初日となった先週末は、高速道路も各方面で渋滞が生じるなど、クルマでの移動も多いようだ▼そろそろ旧盆期間も送り盆を迎える。同時に帰省地や行楽地からのUターンラッシュが始まり、たくさんの思い出やお土産を積んだクルマが都市部に戻ってくる。顧客の燃料はもちろんのこと、洗車などの油外需要も見込める時期。我々もこの商機を逃さず旧盆商戦の終わりを迎えたい。

きょうの紙面

2面 J本田宇都宮店・独歩安に苦悩
■DATAコーナー＝原油価格、石油製品先物情報
3面 東北版・宮城・官公需拡大を／中国版・広島・福山支部が飲料配布
4面 九州版・'18総（代）会から・経営／フォーカス関東

HITACHI
Inspire the Next
小さくなって、使いやすさアップ。
マルチフェイスLOW typeは、高さをおさえたコンパクト仕様。
低い背丈でも広い給油範囲を確保し※、
ノズルも取り回しやすくなりました。
さらに、コンパクトなLOW typeなら、開放感ある広々としたSSを演出。
多彩な機能に高い操作性をプラスした人にやさしい一台です。
※当社従来モデル(LOW type)より10%アップ
MULTIface マルチフェイス
日立オートモティブシステムズメジャメント株式会社 〒210-0005 神奈川県川崎市川崎区東田町8番地 パレール三井ビル TEL. 050-3852-5623 http://www.hitachi-automotive-mm.com

【宇都宮】ジョイフル本田宇都宮SSは8月に入り、ガソリンの価格を値下げした。周辺価格よりも5円近く安い〝独歩安〟の状態はいまだに続いており、周辺業者を疲弊させている。

J本田 宇都宮店 独歩安に地場疲弊

8月入り後、5円差 諦めと不満交錯

時間を問わず給油客が入り続けるジョイフル本田宇都宮SS

同SSは関東と東北を横断する、通称「新4号バイパス」の直下に位置し、交通量もほかの店舗に比べて格段に多い。休日になれば給油客がすべてのレーンを埋め、給油待ちの車が発生することも珍しくない。こうした状況に地元業者は「ジョイフルが進出してから、一気に廉売競争が激化した。周辺SSもその値上げ、値下げに敏感に反応するようになり、悪い意味でプライスリーダーになってしまった」と嘆く。

好立地のうえ商圏は想像以上に広く、影響は市内だけにとどまらない。隣接地域の地場業者も「明らかに給油客は遠退いた。ジョイフルの価格と比較されて嫌味を言われたことも。業転格差縮小で一時期ほどの値差はなくなったが、それでも安過ぎることに変わりはない」と肩を落とす。

一方で「不満があるのはもちろんだが、正直すぐに状況が変わる訳でもない。目先の価格に左右されることなく、足元を固めた商売を続けるほうが重要」と静観する声も多い。

また「セルフSSの給油客は〝安ければどこでもいい〟と感じている人も多く、なかなか固定客になりにくい。あまり気にしても仕方がないのではないか」との声も。実際の給油客に話を聞くと「給油場所にこだわりがある訳ではないが、ジョイフルはHPでも価格がわかり、特に不便していないので変えるつもりもない」と話している。

J本田6店 G1円下げ

ジョイフル本田の運営する7SS（群馬・新田店、千代田店、栃木・宇都宮店、千葉・富里店、千葉ニュータウン（NT）店、埼玉・幸手店、東京・瑞穂店）は、10日から幸手店を除く6SSでガソリンを1円下げた。価格改訂は1ヵ月ぶり。

これによりガソリンは新田、千代田、宇都宮、幸手が140円、富里、千葉NT、瑞穂が139円となった。軽油、灯油はいずれも据え置き。

新潟 再編の改善効果期待

【新潟】新潟石商経営委員会（土田裕委員長）は8日、新潟市内で会合を開いた。発券店値付けカード問題についても議論され、土田委員長は「SS業界が利益を追求できる体制を構築しなければ」と強調。出席した全石連の安藤順二業務グループ長は全石連が元売に対し、代行手数料の増額を働きかけていると説明した。

浜田忠博理事長（写真）は冒頭あいさつで、出光興産と昭和シェル石油が来年4月に経営統合することに言及。「取締役は出光、昭シェルからそれぞれ3人と出光創業家が推薦する2人となる。意思決定がうまく機能するのかなど見通せない面もある。業界の環境改善が一層進むことを望むが、我々はこれまで通り顧客と向き合い販売するのみ」と述べた。

土田委員長は「トランプ米政権が11月にイランに対する第2弾の制裁として、イラン産原油を禁輸する。日本や欧州などにもイラン産原油の輸入禁止を呼びかけたことに対し、イランは原油輸送の大動脈であるホルムズ海峡を封鎖する可能性を示唆している」と指摘。そのうえで、「日本にも大きな影響を及ぼす可能性がある」と懸念を示した。

安藤グループ長は全石連SS経営革新部会が作成した「SS経営革新ガイドブック2018」について説明、活用を促した。

コストコ、石川に進出

野々市店 SS併設へ

コストコ野々市倉庫店。店舗北側の空き地（手前）にSSが併設される

【野々市=石川】SSの全国展開を急速に進めている外資系量販店コストコ・ホールセールジャパン（本社・川崎市）は、石川県野々市市の「コストコ野々市倉庫店」（2015年8月開業）にSSを新規に併設する方針を固め、地元の白山野々市広域消防本部に設置許可申請を提出した模様だ。早ければ年内にもオープンする見通しとなっている。

同店は金沢市中心部から南約8キロの国道8号線すぐそばにあり、地元の石川石商（吉岡英一郎理事長）は既存店への影響が極めて大きいとして危機感を募らせている。

コストコがSSを新設するのは、野々市倉庫店北に面した旧パチンコ店の広大な空き地。倉庫店は野々市市だが隣接の地続きのこの空き地は白山市に属している。北陸道白山ICからわずか2キロ、主要県道と国道8号が交差するすぐ近くで車の通行量も多い場所。ここにコストコは3年前、地上3階建て（1階店舗、2～3階駐車場）の倉庫店を開業。その立地条件からかなりの客が訪れ、週末などは駐車場が満杯になるほどマイカーが押し寄せている。併設SSは、これまで全国11ヵ所で営業している規模とほぼ同様の同時給油16台可能な計量機8基と灯油給油所を備えた会員制大型セルフ店となる模様。

中部地区ではコストコのSS併設は愛知県・中部空港倉庫店（常滑市）、富山県・射水倉庫店（射水市）、岐阜県・岐阜羽島倉庫店（羽島市）に続き4店舗目となる。

周辺の販売業者の間からは、「先行してSSを併設している店舗と同様に、ガソリンや灯油を集客目的のための激安商品として販売する恐れが強く、災害時に地域を守る既存SSが廃業に追い込まれかねない」と危機感を訴える。

ある特約店幹部は「野々市倉庫店に大規模な激安SSがオープンすると、県内のガソリン市場は大荒れになる。なにかいい対抗策はないものか」と頭を悩ませている。

求められるプロフェッショナル・マネジャーとは！

集合セミナー⑧ 東京・人材力支援事業

経営者の〝分身〟として

カービジネス研究所代表 堀越勝格氏

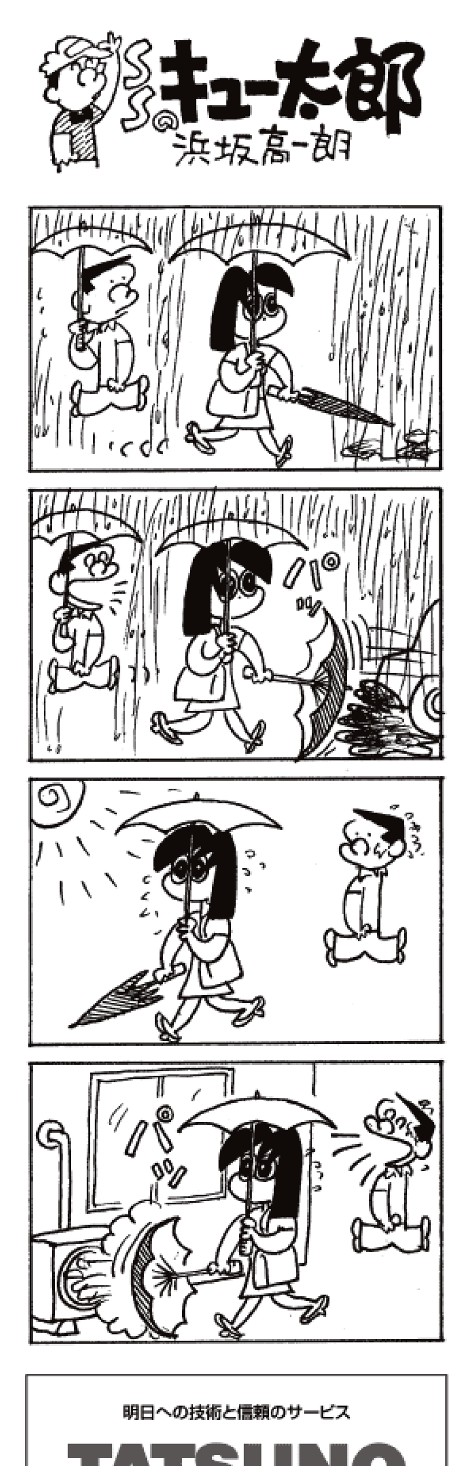
仕事における「管理者」とは、①経営者②部下③自分自身―のそれぞれの目線から考察することができる存在だ。①目線では「自分の分身」。日常業務に直接携わることが難しい経営者に代わり、考えていることを的確に察知し、自分の代わりに日常業務を遂行することが求められる。管理者能力の高さは「どの程度、経営者の代行ができるか」で決まり、指示をそのまま部下に伝えるだけの「メッセンジャーボーイ的管理者」、意向を読み部下に説明・指示が出せる「広報マン的管理者」、経営者に代わり物事を考察・処理できる「業務責任を果たせる管理者」に三分類される。

②目線では「仕事と生活の両面における指導者」。若手社員にとって管理者は最も注目する対象で、助力を求める存在だ。部下が正しい行動を取れるように指導・教育するだけではなく、同時に「良き理解者」でなければならない。

③目線では「経営陣に向けての過程期間」。これからの人生を考えたうえで、管理者の役割機能をしっかり考える必要がある。

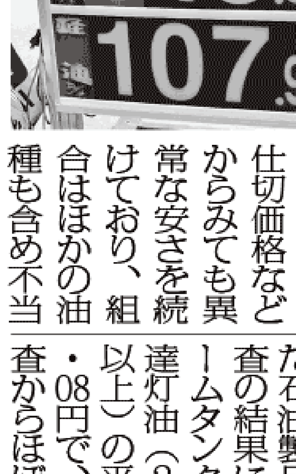
管理者はなにを学ぶべきか。経営者のためには「経営者の人生を知ること」。経営者に徹底的に感情移入し、なぜその指示を出したのか、プロセスを汲み取る。「相手の感情を理解する力」は、管理者として将来にわたり役立つ。部下のためには「信頼関係を築き上げること」。リーダーシップの根本は、部下との信頼関係。育ってきた生活環境や本人について幅広く関心を持ち、部下のためを思って指導し、部下が成長して素晴らしい人生を送れることを願いながら指導する。その時に初めて部下は心を開き、力になろうとしてくれる。そのためにはできるだけ多くの時間を過ごし、暖かい思いやりを持って接することが必要だ。

部下にわかりやすく指示を出しているか、上司に代わり適切な命令ができるか、経営者の「分身」になり得ているか。部下の成長に寄与する仕事を与えているか、仕事が順調に進んでいるか、納得するまで打ち合わせを行っているか。より高い存在価値を目指し続けているか、なにを求めているかを理解しているか、組織をより良くしたいと感じているか―など、第三者の目線でもう一度振り返って考えてみてほしい。



明日への技術と信頼のサービス
TATSUNO

愛知 〝常滑問題〟で29回目申告



【名古屋】愛知石商（宇佐美三郎理事長）は、常滑市のコストコSS（本社・川崎市）とPBバロンパーク（同・愛知県半田市）のガソリン価格に不当廉売の疑いが強いとしてこのほど、公正取引委員会に調査依頼の申告をした。両社SSに対する公取委への訴えはこれで29回目。

常滑のコストコ中部空港店は7月初旬以来レギュラーガソリン㍑135円（写真㊤）、バロンパークりんくうタウン店も133・9円（写真㊦）で販売（ともに3日）。仕切価格などからみても異常な安さを続けており、組合はほかの油種も含め不当廉売に当たるとしている。

北石連副会長 菅原 耕氏

ズームアップ 東西南北

返礼の品 〝石油の力〟実感して

6月に稚内市危険物安全協会会長として消防庁長官賞を受賞した北石連の菅原耕副会長（瀬戸漁業社長・JXTG系）。地元関係者からのお祝いに対する返礼の意味を込めて、災害時に避難所で役立つ「煮炊き兼暖房用バーナー」一式をこのほど稚内市に贈呈した。

お礼の品にトヨトミ（名古屋）が「どこでも使える1台2役」とアピールするこの商品に決めたのは、表彰式直後に福岡市であった全石連総会と同時開催された「SSビジネス見本市」の石油連盟のブースで実物を見たから。なにをお返しにすべきかと考えていた時、ひらめいたという。

寄贈を受けた稚内市の工藤広市長は、菅原氏に感謝を述べた後、機材の効果検証の必要性を指摘したうえで「町内会や自主防災組織などが災害訓練を行う中で、実際に検証してもらい、その効果を実感してほしい」と訴えた。

菅原氏は、自身が会長を務める稚内市社会福祉協議会が来月1日に開催する「ふくしフェスタ」でまず使用することを表明。「ボランティアの方々に評価してもらいたい」と期待している。

静岡石商西部会 猛暑対策しっかり

【磐田=静岡】静岡石商西部会（久野広滋部会長）はこのほど磐田市内で開催した会合で、来年10月に実施予定の消費税増税に対する軽減税率制度について来年以降に説明会を実施することを決めたほか、県内のSS数が昨年度よりも38ヵ所減少したことなどを報告した。

久野部会長（写真）は冒頭あいさつで「夏商戦を前に記録的な猛暑が続いているが、体調管理には十分注意を」と呼びかけたほか、「トヨタ東富士工場（静岡県裾野市）が3年以内に岩手・宮城に移管するが、その影響が各所に少なからず出るだろう」と危惧した。

また同石商の鈴木裕司理事長は「6～7月は減販が続き、一方でコストコの影響も大きくなってきた」と述べたうえで「様々な自然災害が頻発しているが、静岡にも山地や河川は多く〝まさか〟が起きてからでは遅い。災害の想定範囲を広げ、有事に徹底的に備えなければならない」と強調した。

札幌市モニター 多量配達灯油 ほぼ横ばい

【札幌】札幌市消費生活課が10日に実施した石油製品小売価格調査の結果によると、ホームタンク向け多量配達灯油（200㍑程度以上）の平均価格は95・08円で、7月25日調査からほぼ横ばいの0・04円の値上がり。

調査店100店（うち取り扱い休止・なし24店）の最多価格は95円（27店）。最安は77円（1店）、最高は103円（1店）。

ガソリン（現金）はフルが153円、セルフが151円。同じく軽油は136円、134円で、両油種いずれも変わらず。

島根石協共同委 〝8連覇〟へ意欲

【出雲=島根】島根石協共同事業委員会（滝田久巳委員長）はこのほど出雲市内で委員会を開催し、年間目標、キャンペーン目標などを決定した。

今期から委員長に就任した滝田氏（写真）は「皆さんにご指導いただきながら委員長の職を務めていきたい」と述べ、「組合財政への貢献も大きい共同事業で当県はこれまで7年連続で全石連目標を達成している。今年度も協力し合いながら、さらに記録を伸ばしていきたい」と、事業活動の推進に力を注ぐ意向を示した。

JXTGエネ 五輪応援キャンペ 9月30日まで実施中

JXTGエネルギーは1日から、DREAMS COME TRUE（ドリカム）のライブチケットが当たる「ENEOS東京2020オリンピック・パラリンピック応援キャンペーン」を開始した。

期間は9月30日までの2ヵ月間で、専用HPにアクセスのうえクイズに回答すると応募が可能。ドリカムのライブペアチケットが1200組に当たる「プレミアム賞」のほか、カタログギフトやエネゴリくんぬいぐるみなどが1万7600人に当たる「ENEOS賞」が用意されている。

DATA／コーナー

■石油先物市場・8／14

△値上げ、▲値下げ◇ストップ高、◆ストップ安、単位：¥／KL

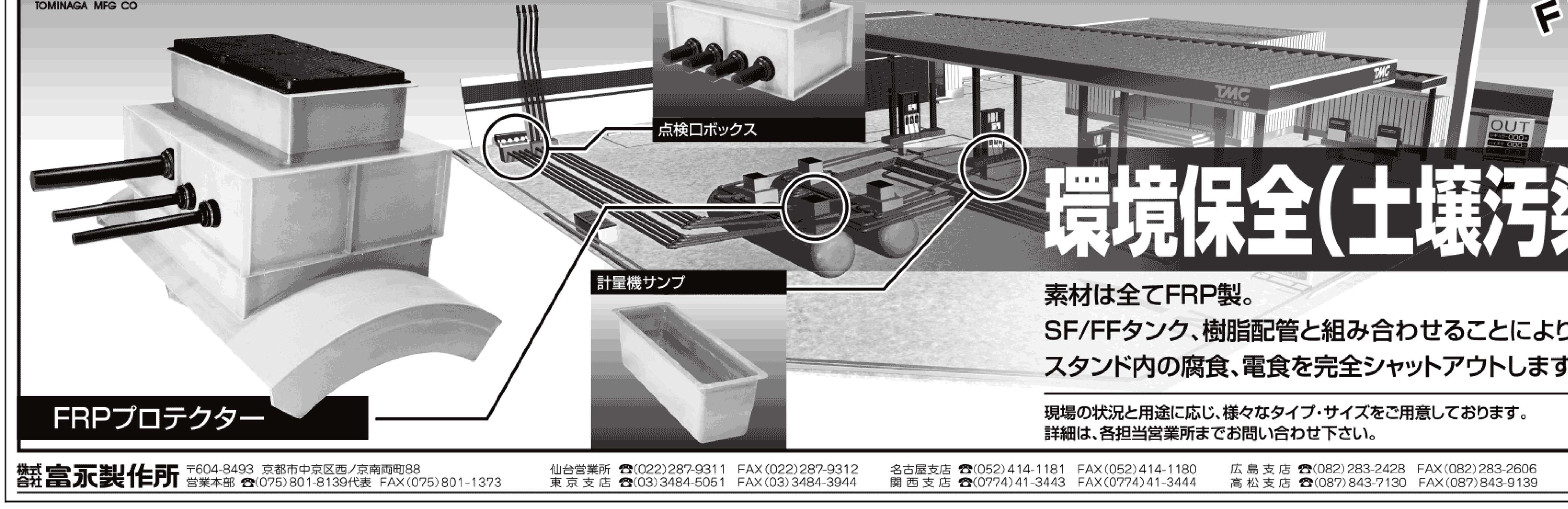
東京商品取引所（京浜海上：1枚＝50KL） / 中京石油市場（伊勢湾油槽所：1枚＝20KL）

東京 14：30現在	前日比	限月	中京 14：30現在	前日比
（前日出来高1,876枚）		ガソリン	（前日出来高10枚）	
63,770	Δ270	⑨限月	-	-
62,850	Δ300	⑩限月	-	-
62,220	Δ220	⑪限月	62,680	▲20
61,760	Δ290	⑫限月	62,330	▲20
61,400	Δ370	①限月	62,000	▲50
61,230	Δ350	②限月	62,000	0
（前日出来高415枚）		灯油	（前日出来高-枚）	
65,650	Δ330	⑨限月	-	-
66,080	Δ340	⑩限月	-	-
66,560	Δ350	⑪限月	-	-
66,570	Δ490	⑫限月	-	-
66,520	Δ400	①限月	-	-
66,280	Δ340	②限月	-	-
（前日出来高-枚）		軽油		
-	-	⑨限月		
-	-	⑩限月		
-	-	⑪限月		
-	-	⑫限月		
-	-	①限月		
-	-	②限月		

原油指標

			前日比
国内指標	$／B	71.48	(Δ0.82)
	¥／KL	50,254	(Δ674)
WTI	$／B	67.20	(▲0.43)
	¥／KL	47,248	(▲209)

TMC TOMINAGA MFG CO



〝燃料供給システム〟の明日に取組む

FRPプロテクター

全国各地で好評展開中!

環境保全（土壌汚染対策）に最適!!

素材は全てFRP製。
SF/FFタンク、樹脂配管と組み合わせることにより、スタンド内の腐食、電食を完全シャットアウトします。

特許第3878187号

現場の状況と用途に応じ、様々なタイプ・サイズをご用意しております。
詳細は、各担当営業所までお問い合わせ下さい。

http://www.kyoto-tmc.co.jp

株式会社富永製作所 〒604-8493 京都市中京区西ノ京南両町88 営業本部 ☎(075)801-8139代表 FAX(075)801-1373
仙台営業所 ☎(022)287-9311 FAX(022)287-9312 東京支店 ☎(03)3484-5051 FAX(03)3484-3944
名古屋支店 ☎(052)414-1181 FAX(052)414-1180 関西支店 ☎(0774)41-3443 FAX(0774)41-3444
広島支店 ☎(082)283-2428 FAX(082)283-2606 高松支店 ☎(087)843-7130 FAX(087)843-9139
福岡支店 ☎(092)651-3168 FAX(092)651-3118 事業所・代理店／全国主要39都市

東北

東北支局（仙台市青葉区二日町12-9 宮城県石油会館）022（225）1967

理事会開き年間予定など決定

佐藤理事長　官公需拡大訴え

宮城

宮城石商・協（佐藤義信理事長）はこのほど、仙台市で理事会を開き、今年度の組織機構と各理事の担当、年間スケジュールなどを決めた。

佐藤理事長は冒頭のあいさつで「元売再編で市況は上がったが、SSの収益力は回復していない。元売の数が減って系列色が強く出てこなくなった状況下で、組合員が全石連活動の下に1つにまとまっていくことが必要だ」と指摘。組合の課題としては「官公需の共同受注額は全国で福島が1番、岩手が2番なのに対し、宮城は10番目と弱い。県内の入札では強い会社が落札しており、共同受注を強化していかなければならない」と官公需拡大を挙げた。

官公需拡大を課題に挙げた佐藤理事長

副理事長就任の抱負を語る亀井氏

人事では副理事長で仙台支部長の澤口紘八氏が辞職願を提出し、仙台支部の新支部長にカメイ専務・亀井淳一氏を選出したのを受け、副理事長に亀井氏を選任することを決めた。

亀井氏は選任を受け、「東京支店時代に都石（東京石商・協）の理事を6、7年務めた経験はあるが、現場経験豊富な先輩はほかにたくさんおられる。澤口氏に教えを受けながら県石、石油業界のため頑張っていきたい」と抱負を語った。

審議では、宮城県と結んだ「災害時の石油製品備蓄協定」の改定、老朽化に伴う県石油会館シャッター修理、次世代人材育成事業の実施などを原案通り承認した。

会議では各支部から選出された新理事として、阿部雅浩（仙台）、下田啓二（塩釜）、遠藤隆夫（七ヶ浜）、菅原壮一郎（気仙沼）の4氏が紹介された。

主要国道で軽油抜取調査実施

南東北3県

脱税目的の不正軽油の撲滅を図ろうと、宮城、福島、山形の3県は先ごろ主要国道でトラックやバスなどを対象に燃料油の路上抜取検査を実施した。

宮城県は、仙台市太白区の国道4号沿いなど4ヵ所で検査を実施。県の担当職員が警察の協力を得て走行中の大型トラックなどを誘導・停止させ、タンクから200cc程度の燃料油を抜き取るとともに、運転手から給油の日時、場所、数量などを聴き取り調査した。

157台から抜き取った燃料油サンプルの簡易測定を行った結果、課税されていない灯油や重油の混入を示す識別剤（クマリン）反応が出たサンプルは1本もなかった。

福島県は4ヵ所で121サンプル、山形県も2ヵ所で53サンプルを抜き取って分析している。

3県は不正軽油撲滅を強くアピールするため、連携して毎年同じ日に抜取検査を実施している。

組織力強化議題に講演会

目標は〝将来の自分〟

宮城石商・宮城石商気仙沼支部

宮城石商気仙沼支部（高橋正樹支部長）は先ごろ、組合員SSの組織力強化に役立ててもらおうと、講演会「スポーツ心理学で勝つ」を気仙沼市で開催し、SS従業員ら約100人が受講した（写真）。

講師は応用スポーツ心理学博士の布施努氏。慶大などのラグビー部でメンタル指導を担いチームを強くした実績から、ビジネス面でも大手企業に講師として招かれ組織力強化の指導を行っている。早実野球部が荒木大輔投手を擁し甲子園で準優勝した時のメンバーで、同校野球部同期の高橋支部長の声かけで講演会が実現した。

布施氏は良い組織の特徴について「各人が目標を立てられ、自分の目標と組織の目標を関連付けられる。状況の変化に合わせて目標を修正できる」、逆に駄目な組織については「消去法で物事を判断し、課題がなく、批判意識が低い」と指摘。中学時代は平凡なサッカー選手ながら日本代表にまでなれた長友選手を例に出し、「同僚と横の比較をせず、将来目標とする自分と縦の比較をし、足りない部分の強化を図ることが大切だ」と指摘した。

特約店主義は不変

東北昭シ会経営研究会

東北昭和シェル会（鈴木實会長）はこのほど、経営研究会（写真）を仙台市で開き、昭和シェルと出光興産との経営統合への動きが加速する状況下でも東北支店と特約店が結束してグループ競争力を強化していくことを確認した。

鈴木会長（佐藤燃料副社長）があいさつし、「経営統合の実現に向けて亀岡社長を全面的に支援していきたい。経営統合による再編で業界環境がさらに改善していくことを期待する」と述べた。

昭和シェルの朝比奈俊明東北支店長はあいさつの中で今年のグループ経営計画を示したうえで、新ビジョンや、特約店が顧客と信頼の輪で結ばれていることをイメージしたロゴなどを発表した。

講演した岡田智興副社長は、今後の出光との協議で焦点となる検討事項などを説明したうえで「培ってきた特約店主義は不変であり、結束してグループ力強化を進めてほしい」と呼びかけた。作家・井沢元彦氏の講演の後、同会の高橋正樹副会長（気仙沼商会社長）の音頭で懇親会を開いて情報交換した。

岩手石商盛岡支部　納涼！親睦ビアパーティー

岩手石商盛岡支部（菊地信寛支部長）は先ごろ、盛岡市のホテルで親睦ビアパーティー（写真）を開き、組合員企業とSS設備関連企業などの役職員65人が交流を深めた。

菊地支部長が「盛岡支部は会員企業の経営改善と労務条件の改善をテーマに活動していく。きょうは懇親を深め、大いに盛り上がろう」とあいさつ。乾杯の音頭を取った小山田繁雄副支部長が「大企業のボーナス平均支給額95万円を出せるように頑張ろう」と気勢を上げて開会した。

暑い日が続く盛岡も当日はビアパーティーに不向きな涼しい気候だったが、出席者はビールと料理をを堪能しながら情報を交換した。

中国

中国支局（広島市南区皆実町1-7-20 広島県石油会館2階）082（264）6623

酷暑！熱中症予防にポカリ配布

広島・福山支部

今年も夏本番。熱中症が懸念される時期を迎えたことから、広島石商福山支部（檀上博則支部長）では、支部内組合員SSにポカリスエット（粉末タイプ）を1SSあたり5ケース配布した。太陽が照り付ける屋外での作業が中心となるSSマンの夏バテ、熱中症の予防対策の一環。配布したポカリスエットは、同石協（大野徹理事長）の取扱商品。

毎年この時期に実施しており、今年で6回目を迎えるこの取り組みは、支部内の組合員からも好評を得ている。特に今年は7月の気温が西日本で統計開始以来、第2位タイ記録の高温となるなど猛暑が続いていることから、熱中症予防対策としての効果が期待される。

「真夏の暑い中で頑張ってくれているSSマンは会社にとっては大切な戦力。特に夏場は水分をしっかりと取ってもらわねばならない。これを行うのも経営者の役目」。SSで働くスタッフへの水分補給の大切さを強調した大野理事長のこの発言に、福山支部が共鳴、賛同したことからこの取り組みが開始された。

同石協事務局では「福山支部のような一括注文に限らず、個別の注文も受け付けているので、遠慮なく注文してもらい、熱中症対策を進めてほしい」としている。

ポカリスエットは個別注文も受けつけている

総務は廣川副理事長　各委員会担当を決定

西日本豪雨課題など検証

広島

広島石商・協（大野徹理事長）はこのほど県石油会館で理事会を開催し、今期役員の役割分担を決めたほか、『満タン&灯油プラス1缶運動』のPR、西日本豪雨（平成30年7月豪雨）の被害状況や対応への課題などについて意見交換を行った。

各委員会の役員分担では、廣川正一副理事長が引き続き委員長を務めることとなった総務委員会は全体の総括を、中内啓二副理事長が委員長に留任した経営委員会は研修事業を分離し官公需の受注拡大などを中心に力を注いでいくとした。その研修事業を担当することとなった広報・研修委員会の委員長には今期から新たに西岡直彦副理事長が就任。一般消費者に対する石油組合の取り組みなどの広報活動や組合員への組合活動の周知、研修事業をはじめとする組合活動への積極的な参加を呼びかけていく。

また、全石連目標を4年連続で達成した共同事業を担当する共同事業委員会委員長には檀上博則副理事長が引き続き就任し、全石連目標の5年連続の達成を目指すとともに、廃タイヤ回収事業などの組合独自の事業についても一層の拡充を図っていく。信用保証委員会の委員長には坂東辰男副理事長を留任。各委員会はそれぞれの活動を通じて組合活動を後押ししていく。

西日本豪雨について、阿部雅浩（仙台）、

大野理事長（右）から表彰状を受ける檀上副理事長（写真㊤＝左）と齋藤理事（写真㊦＝左）

檀上齋藤　両氏へ全石連表彰伝達

広島石商・協（大野徹理事長）はこのほど県石油会館で開いた理事会で、全石連役員功労表彰の伝達式を行った。

大野理事長から、檀上博則副理事長と齋藤正國理事に表彰状と記念品がそれぞれ手渡された。

島根　9月4日に災害対応研修

各委員会の役割分担などを決めた広島理事会

島根石協（土田好明理事長）は災害時を想定した店頭混乱回避シミュレーションや災害対応ガイドラインなど災害対応に関する知識の習得を目的とした「災害対応研修会」を開催する。

開催日時は9月4日午後1時30分から。開催場所はニューウエルシティ出雲（出雲市塩冶有原町2-15-1）。募集定員は80人、受講を希望する場合は24日までに同石協への申し込みが必要。なお、同研修会の詳細については、募集パンフレットや組合ホームページで確認のこと。

4～6月経済は「持ち直し」判断

中国経産局

中国経済産業局がとりまとめた2018年4～6月期の地域経済産業調査結果によると、全体としては中国地域の経済は「持ち直している」と判断された。先行きは、設備投資や雇用情勢が高水準、生産も堅調に推移すると思われるとした。

個別の動向を見ると、生産は主要業種で高い稼働率が継続し全体として「横ばい」、設備投資は「持ち直している」、個人消費は例年より雨の日が多く季節商品が伸び悩み「持ち直しの動きに足踏み感がみられる」とした。また、雇用情勢は「着実に改善しており、労働需給の引き締まりがみられる」とされたが、正社員・パートを問わず、製造業では現業職や技術職、非製造業では販売員など様々な職種で人員が不足しており、一部には人員不足により閉店せざるを得ない店舗もあるとのこと。有効求人倍率は、中国地域（全体では1・84（18年5月））となり、業種別に見ると一部に厳しさはあるものの、改善しており、正社員の有効求人倍率も改善の動きが進んでいる。今後の雇用については、売り手市場で新規採用が困難なため中途採用の継続、女性や高齢者、外国人の積極的な活用を進めていきたいという声が聞かれ、従業員やパートの定着・確保のため賃上げを実施した企業もあるとのことである。

“電気料金”払い過ぎていませんか？

電子ブレーカー 26,000件以上の導入実績

低圧動力を15kW以上にてご契約の方は、
『電子ブレーカー』を活用することで電気基本料金を見直せます！

電力会社の承認を受ける公的に認められたコスト削減方法

高性能電子ブレーカー（CPU制御）を設置し、
電力契約を変更することで電気料金を大幅に削減。

従来のブレーカー：必要以上の電気基本料金を支払う
電気基本料金の平均50%削減
高性能電子ブレーカー：電気基本料金を安く設定できる

■導入事例
あるガソリンスタンド様での導入実績
従来プラン 負荷設備契約 29kW 31,059円/月 ≫ 新料金プラン 主開閉器契約 12kW 12,852円/月
削減料金 月額 18,207円 年間 218,484円

お問い合せは 全石連 共同事業G TEL：03（3593）5841

洗車タオル 大量使いにうれしいお買得価格!!

手のひらサイズR型
●丈夫で長持ち
●吸水性UP
600枚以上 1枚あたり（税別、送料込）¥87
サイズ:約34cm×48cm
重さ:180匁（約56g）
カラー:白・青・ピンク・黄色　素材:綿100%

マイクロファイバー
●抜群の吸水性 ●すぐれた耐久性
●クルマにキズがつきにくい
600枚以上 1枚あたり（税別、送料込）※但し、沖縄・離島は送料別途 ¥91
サイズ:約30cm×48cm 重さ:約38g
カラー:白・青・ピンク・黄色
素材:ポリエステル80%・ナイロン20%

高級マイクロファイバータオル
●ワックスやコーティング仕上げに最適
600枚以上 1枚あたり（税別、送料込）¥120
サイズ:約40cm×40cm　カラー:白・青・赤・黄
重さ:約61g　素材:ポリエステル80%・ナイロン20%
※ご注文は60枚以上、10枚単位
※60枚以上は送料込（但し、沖縄・離島は送料別途）

マイクロファイバースクエア
●汚れが目立ちにくい 鮮やかな色合い
600枚以上 1枚あたり（税別、送料込）¥88
サイズ:約40cm×40cm　カラー:青・赤・緑・黄色
重さ:約50g　素材:ポリエステル80%・ナイロン20%
※ご注文は200枚以上、100枚単位
※200枚以上は送料込（但し、沖縄・離島は送料別途）

ニューカーウォッシュタオル
●強度あり、210匁
●毛羽が出にくい
600枚以上 1枚あたり（税別、送料込）※但し、沖縄・離島は送料別途 ¥92
サイズ:約33cm×48cm　重さ:210匁（約65g）
カラー:白・青・ピンク・黄色　素材:綿100%

手のひらサイズ200匁
●手触りバツグンのボリューム感
600枚以上 1枚あたり（税別、送料込）¥88
サイズ:約34cm×48cm　重さ:200匁（約62g）
カラー:白・青・ピンク・緑・黄色　素材:綿100%

手のひらサイズ140匁
●女性でも絞りやすい
●洗車、窓拭きに最適
600枚以上 1枚あたり（税別、送料込）※但し、離島は送料別途 ¥70
サイズ:約34cm×43cm　重さ:140匁（約44g）
カラー:白・青・ピンク色　素材:綿100%

※ご注文単位は1色60枚。180枚以上ご注文の場合、送料無料（高級マイクロ・スクエアは除く）。

タオル用液体洗剤 タオルクリーンSS 18ℓポリ容器 ¥6,850（税別、送料込 但し沖縄離島は別途）

サンプルご希望の方や商品の詳細についてのお問い合わせは、
最寄りの組合または全国石油業共済協同組合連合会へ 03-3593-5841

ちゃんと「ちゃんと買い」してる？ 基準※は、新車装着タイヤ。

※ブリヂストンの基準であり、タイヤ業界全体の基準ではありません。

株式会社ブリヂストン
［ブリヂストンお客様相談室］フリーダイヤル0120-39-2936　受付時間：月～金（祝日・当社指定休日は除く）9:00～17:00　月に一度は、空気圧の点検を！
www.bridgestone.co.jp
Worldwide Tire Partner

九州

九州支局 092（282）0908（福岡市博多区下呉服町1-15 ふくおか石油会館5階）

始動—'18総(代)会から

経営

最大課題は経営改善

安定供給の責務果たすために

厳しさを増す経営環境の中で、地域住民の暮らしを守るためにもSSが生き残ることは「社会的な責任」でもある。そのためにも再投資可能な健全経営を実現しなくてはならない。元売の経営統合が進み、業転と系列の格差は縮小しているが、その一方で人手不足が深刻になっている。

佐賀石商・協の総会で、北島喜郎理事長は「佐賀県内ではこの20年で3分の2に当たる400ヵ所のフルSSが廃業・撤退した。過度な販売競争、価格競争が最大の要因だ」と話した。また、この状況から脱却するためには「価格競争から意識改革し、量から質へと持続可能な収益体制を構築、経営を変革することが最大の課題」と述べた。

鹿児島石商・協の総代会で、笹田隆司理事長は「SSが地域住民に燃料を供給するという、防災の拠点としての重要性は揺るがない。将来にわたって持続する経営力、適正なマージンの確保が必要だ」と指摘し、「労働環境、経営環境の改善」を強調した。

また、人手不足に対応する雇用環境の改善にも力を入れており、年末年始には多くの店が自主的に休業し、営業時間を短縮した。今後とも積極的に取り組む方針だ。

沖縄経済は観光客の増加などによって比較的好調だが、沖縄石商・協の濱元清理事長は「人手不足が深刻になっている。組合も組織を上げて全力で取り組む」と述べた。

さらに「〝最後の砦〟として位置付けられた我々組合員は、自らのビジネスに誇りを持ち、再投資可能なマージン確保に努めなければならない。安定供給という責務を果たすためにも公正な競争環境の下、堅実な経営が成り立つ業界にして行かなければならない」として、全石連との緊密な連携によって安定経営を図る、との方針を決めた。

北島理事長

笹田理事長

濱元理事長

「経営の安定が基本」と確認した鹿児島総代会

九州支部理事長会開く

軽減税率など説明

船舶燃料規制強化で意見交換

全石連九州支部（喜多村利秀支部長）の理事長会がこのほど、福岡市で開催された。軽減税率や船舶燃料の環境規制強化などについて意見交換した。

来年10月からの消費税率改定に伴って軽減税率制度が導入されるが、その場で飲食するイートイン・スペースがあるSSでは、飲食品の提供が外食（標準税率）か、テイクアウト（軽減税率）に当たるかが問題となる。その場合、SS側が販売する時点で、顧客に意思確認して判断することになる。「軽減税率で販売した後で、客が予定を変えイートイン・スペースで飲食した場合でも軽減税率の対象になるか」など難しいケースについての説明もあった。

また船舶による海上輸送中のHNS（化学物質、石油、LNGなど）によって損害を受けた者に対する適正・迅速かつ効果的な賠償および補償についての条約がIMO（国際海事機関）によって採択された。

バージを所有、または灯油や重油を船舶から受け取る石油販売業者が対象となり、今後の対応について意見交換した。

コストコ問題などで意見交換する全石連九州支部理事長会

全石連の活動について説明する喜多村支部長

鹿児島県・十島村

〝夢〟の給油所オープン

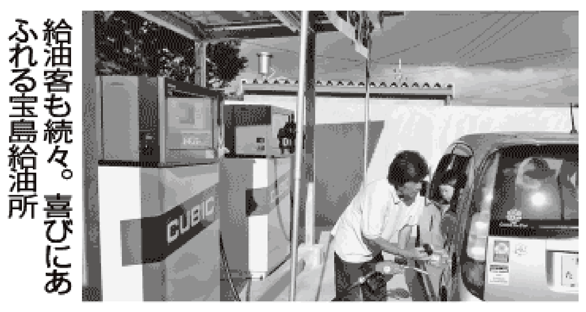
鹿児島県十島村の7つの有人島で初めて開所した「宝島給油所」は、島に暮らす人々にとって長い間の〝夢〟だった。供給の不安定さや不便さから解放された島は喜びに包まれた。（一部既報）

給油所は面積約70平方㍍で、ポータブル給油機2基を備え、ガソリンと軽油を販売。場所は村の中心部、日用品を扱う共同販売所の真向かいにあり、一体運営する。

オープン初日にはテープカットや祝賀会が催され、島民も多数参加した。肥後正司村長は「島民はドラム缶でガソリンを購入していたが、日本離島センターや全石連の支援を得て経済産業省資源エネルギー庁の補助金により給油所が完成した。これまでは数量が制限され供給が安定していなかった。家庭でガソリンを保管しなくてはならないという不安も抱えていた」と、給油所の開設の意義と関係者への謝辞を述べた。

オープン直後から車が次々に給油所を訪れ、珍しそうな表情で給油を依頼、スタッフはまだ慣れない動作で給油していた。子どもたちを乗せて給油した主婦は「いままではドラム缶でガソリンを入れていましたが、ポンプで車のタンクに入れるのはかなり大変でした。これからは安心です」と笑顔を見せていた。

同村では「住み良さを実感できる島づくり」を推進しており、宝島だけでなく他の有人島への給油所設置を国などに要請する。


給油客も続々。喜びにあふれる宝島給油所

コストコ進出の影響など指摘

熊本・支部長会

熊本石商・協（三角清一理事長）の支部長会が先ごろ、熊本市で開催され、熊本県御船町に進出を計画しているコストコについて意見交換した。

三角理事長は「全石連に参加している組合員の7割は1SSの経営者で熊本県内も同様に小規模事業者が圧倒的に多い。需要が減少し厳しい経営が続く中でコストコが全国各地に進出し、近隣のSSは大きな打撃を受けている。熊本にも進出を計画しており、SSが併設されれば影響は免れない」と指摘した。

北﨑富一・油政連会長はコストコに対する自民党の石油流通問題議連の取り組みなどを詳しく説明し「コストコの進出はSSだけでなく地元商店街、地域全体にも大きな影響があると思う。私たちとしては、考えられる限りの手段を使って、関係各方面に実情を訴えている。いまのところ、有効な対応策を打ち出せないままだが、これからさらに知恵を絞って組合員が打撃を受けないような方策を考えたい」と話した。

フォーカス関東

ZENSEKI

異例の猛暑!!

顧客ニーズに応え サービス向上図る

太陽がぎらぎらと照り付け、気温がぐんぐん上昇。連日の猛暑。いつまで続くのかと気が遠くなる。そんな時、口にしたくなるのが、冷たいスイーツだ。かき氷やアイスクリームを店内で販売し〝爆売れ〟しているSSがあるという。そんな話を聞き、静岡県と千葉県のSSを取材した。

静岡・やまあき古人見SS

連日行列、暑さ追い風

うだるような暑さが続く毎日。静岡県浜松市のやまあき（古橋秋仁社長・JXTG系）古人見SSでは6日午前11時ごろ、客が行列を成している。その先には「沖縄cafe果報（カフー）」の看板。

客のお目当ては、サービスルームに併設したカフェで提供している名物かき氷だ。体の中から涼しくしてくれるかき氷を求めて連日、午前10時の開店前から閉店する夕方まで、行列が絶えない。この日の浜松市の気温は34度。20人ほどが入れる店内は満席で、さらに15人超が順番待ちで座っていた。

「給油だけでは経営が厳しい。なにかやらなければと考えた時、知人のアドバイスでかき氷を販売することを決めた」。やまあき4代目の古橋社長は振り返る。サービスルームを改造し、2010年にカフェを開設した。古橋社長が好きな沖縄らしいかき氷やソーキそばなどの料理をそろえる。

「SSでかき氷」という意外性もあって、口コミや交流サイト（SNS）で徐々に人気が拡散した。珍しさだけでなく、味や食感も本物だ。「自家製の氷に、試作を繰り返し開発したこだわりの手作りソース。さらに氷の削り方も工夫し、ふわふわ感と食べ応えを楽しめるようにした」と古橋社長は胸を張る。

豊富なメニューを用意しているが、静岡県産のイチゴ「紅ほっぺ」や沖縄県産マンゴーを使ったかき氷が売れ筋だという。価格は600～1千円程度。古橋社長は「今年は猛暑の影響で、昨年より客が多い。1日に200～300杯売れる」とホクホク顔だ。

SSのかき氷を食べようと、幅広い客層が県内外から訪れる。埼玉県から家族3人で来店していた宮﨑侑也さんは「浜松の実家に帰省するたびに行列を見かけ、いつか食べてみたいと思っていた。ふわふわしていておいしい」と顔をほころばせていた。

かき氷販売

サービスルーム前はかき氷の行列
（左上は家族連れらでにぎわう店内）

各地で体温超えが続出

日本列島が高気圧に覆われ、7月中旬から下旬にかけて「災害レベル」と呼ばれる猛暑が続いた。関東各地でも40度前後の高温が連日にわたり続いている。原因は、チベット高気圧と太平洋高気圧が重なったため。この2つの高気圧で日本列島上空は「掛け布団」のようになり、異常な熱波を生み出した。

猛暑がピークに達した7月23日、埼玉県熊谷市では観測史上最高となる41・1度を記録。甲府市でも40度超えを観測する一方で、最も低かった千葉・神奈川でも37・4度。いったん暑さが収まったかのように思えた29日には、フェーン現象で日本海側の気温が上昇。新潟県内で39度超えの高温が続出し、観測地点の最高記録を次々に更新した。県庁所在地別では、最高気温が30度以上の「真夏日」は各地で25日程度発生、新潟県では前年より9日も上回った。さらに35度以上の「猛暑日」も急増し、群馬・山梨では月の半分が猛暑日となったほか、すべての地域で発生日数が増加した。

2018年7月の気象データ（カッコ内は前年）

	最高気温（観測地）	真夏日の日数	猛暑日の日数
茨城	38.6（古河）	24（19）	4（0）
栃木	39.2（佐野）	26（22）	9（0）
群馬	39.9（桐生）	27（24）	16（6）
埼玉	41.1（熊谷）	26（25）	13（1）
千葉	37.4（千葉）	27（27）	2（0）
神奈川	37.4（海老名）	24（26）	3（0）
新潟	39.5（三条）	24（15）	3（0）
山梨	40.3（甲府）	28（27）	16（11）
長野	38.5（南信濃）	24（19）	8（3）
静岡	38.7（佐久間）	26（25）	1（1）

（参考：気象庁HP）

千葉・ワシダ君津構内SS

給油客の声で販売開始

ワシダ（本社・福岡県北九州市、岡橋正之社長・JXTG系）の君津構内SS（千葉県君津市、花澤丈夫所長）では、今年からサービスルームでアイスクリームの販売を開始した。同SSは新日鐵住金・君津製鉄所の敷地内にあり、体感温度は外気温以上に高い。ヘルメットをかぶりながらの現場作業も多く、例年以上に過酷な環境が続いていた。

スタッフの何気ないアイデアに加え、給油客からの「ジュースの販売ももちろんありがたいが、アイスも販売してくれたらなお嬉しい」という声を受けて準備を進めていたが、交渉を続けていたアイスの自動販売機メーカーに断られ、設置目前にして計画は頓挫。しかし「それなら自分たちで冷凍庫を用意して、仕入れも販売もやってしまおう」と思いを新たにし、準備を再開。告知を見た給油客からは「いつごろ販売を始めるのか」といった期待の声が相次いで寄せられた。

いざサービスルームにアイスが並び始めると、販売を待っていたかのように次々と売れ、その勢いは止まらない。スタッフも「まだお昼過ぎにもかかわらず、きょうだけでもう25本ぐらい売れている」と話し、予想以上の反響に驚きを示す。

同SSでは冷暖房完備の分煙スペースも用意しているほか、お菓子や冷凍食品などの販売も行っている。花澤所長は「アイスの販売は利益のためではなく、あくまでお客さまや現場で働く従業員の方々の要望に、1つでも多く応えることができればとの思いから始めたこと。今後も知恵を出し合い、お客さまのニーズに合ったSSにしたい」と述べ、さらなるサービス向上を目指している。

アイス販売

「あったら便利」を叶えるサービスルーム

TATSUNO

TATSUNO Challenge

100年の時を刻む歴史と経験、技術。そして次世代ニーズを融合し、未来を創ります。

一歩先行く「環境づくり」にチャレンジ。

タツノはこれからも、環境保全、給油の安全性、
経済性への貢献を通じて、
より良きパートナーとなるために、
さらなる努力を重ねてまいります。

新製品

ベーパー液化回収装置 L100R　TOWER-NX D70S　SUNNY-NX D70S

株式会社タツノ　本社／〒108-8520 東京都港区三田三丁目2番6号　050-9000-0567　http://www.tatsuno.co.jp/